

令和 5 年度 悠久会 100 周年記念全国総会 「米百俵総会」を終えて

長岡支部長 沼屋 宏康(精密 S63)

令和 5 年 7 月 17 日(土)にホテルニューオータニ長岡において、令和 5 年度悠久会 100 周年記念全国総会「米百俵総会」を開催致しました。

0 歳から 90 歳まで総勢 159 名の参加を得て、長岡での開催は平成 15 年度の 80 周年記念全国総会以来、20 年振りとなりました。

コロナ禍の影響で全国総会は 3 年連続中止でしたが、従来のように会場に集まって総会を開催できたことはなによりの喜びであり感慨深いものでありました。

100 年の節目を迎え、これまでの 100 年を振り返り、次の 100 年の同窓会のあり方を議論、模索するきっかけの総会になったと考えております。

不慣れなため至らない点多々あったかと思いますが、長岡支部の対応メンバー一同より改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

■ 全国理事会・総会・支部長会

全国理事会・総会は、数年ぶりの対面形式での議論が行われ、事業報告、決算報告、会計監査報告および次年度の事業計画と予算案が承認されました。また、支部長会では、今後の同窓会活動の活性化に関する施策などについて活発な討議が行われました。



■ 講演会

石油産業をきっかけとした工業都市長岡の発展に果たした工学部の役割は大きく、歴史を振り返る意味で「東山油田の歴史とその遺産としての高等教育機関の設置過程」と題して長岡郷土史研究会の長谷川健一会長よりご講演をいただきました。翌日の観光でもガイドをしていただきました。

更に、「はやぶさ 2 の冒険：惑星間往復飛行を成し遂げた技術とマネジメント」と題して、JAXA の津田雄一教授よりご講演をいただき、宇宙開発への理解を深めて未来の工学部のあり方を考える良いきっかけとなりました。



■ 懇親会

開催支部長の挨拶に続き、寺尾理事長にご挨拶いただき、鈴木工学部長のご挨拶と長岡市の条例にならった日本酒での乾杯のご発声で開宴となりました。長岡市観光コンベンション協会による長岡市の酒蔵 15 銘柄の試飲コーナーなど、長岡・新潟にちなんだ食とお酒を堪能いただけたと思います。あちらこちらで旧交を温めるお姿が拝見され、数年ぶりに集まって開催できたこと、なによりでした。



■余興

宴会ホールの天井や壁全体を使った長岡大花火のプロジェクトンマッピングを実施しました。「天地人」「フェニックス」の二つの花火が大迫力の音と光で再現され、圧巻でした。



■観光

翌日7月16日(日)は23名に参加いただき、講演いただいた長谷川会長のガイドにより、東山油田に関連する石碑を巡りました。また工学部の跡地を訪れ、懐かしい学生時代に思いを馳せることとなりました。

た。更に、道の駅「ながおか花火館」の花火シアターを鑑賞し、帰路につきました。

